

「あけましておめでとうございます」

と言うあいさつを元旦、1月1日の午前中は出会う人にしていました。

初詣も例年より穏やかなお天気で、人出も多かったです。

しかしその日の夕刻、木津川市でもかなり大きな揺れがしばらく続きました。

石川県能登地方では、一瞬のうちに大きな被害がでました。

その後も、現地の情報が断片的に伝わってきます。昨夜で死者は160名を越え、安否不明者は320名を越えているそうです。自分以外の全ての家族を失った男性の「何も悪いことしていないのに。なんでわしにこんなことが起こるんや」という言葉が、とても重いです。自然災害は、一切の忖度なしに突然起こりうることを改めて痛感しました。

現地の小学校や中学校、高校の教室、体育館は、家を失った人たちの避難所になっているところもあり、当然、今日、始業式を迎えることはできません。同級生が命を失っていることも考えられます。

こんな時に、私たちにできることは何でしょうか？

私たち自身も自然災害に備えることと併せて、この震災で、命を失われた方々のご冥福を祈ることそして、今、現在も、家にも帰れず雪の降る中、避難所で耐えている人たちに対して、どうぞご無事でと祈ること、そして、私たち自身が浮かれず毎日を真剣に、生活していくしかないと思います。

1年生、2年生はそれぞれ進級して新しい学年になる準備をしてください。

3年生は、何度も言いますが、進路の決定に向けて準備をしてください。

できることを、ひたすら、淡々とやっていきましょう。